

◆発表テーマ概要

<p><b>1 石膏ボード廃材の地盤改良材としての再生利用法の開発</b></p>	<p>群馬大学大学院工学研究科 (株)黒岩測量設計事務所</p>	<p>教授 鶴飼 恵三 専務取締役 樋口 邦弘</p>
<p>リサイクルできない廃石膏ボードは管理型処分場への埋立処分が義務付けられ、2015年には300万トンになると言われる。廃石膏ボードを地盤改良材として大量に再資源化することを目的とした実用化研究を行い、成功を収めつつある。本研究の成果は循環型社会構築の一助となり、環境面と産業面において大きな貢献となる。</p>		
<p><b>2 地域農産物を有効活用した「メロン羊かん」の開発・商品化</b></p>	<p>茨城大学農学部資源生物科学科 亀印製菓株式会社</p>	<p>教授 米倉 政実 取締役部長 小栗 満男</p>
<p>茨城県はメロンの生産量が全国一であり、特に鉾田市周辺はメロンの一大産地となっている。そこでは規格外で出荷できないメロンの新たな活用方法が求められていた。そこで、この規格外メロンの有効活用ならびに「メロンの茨城」をPRするため、食料産業クラスター展開事業において、亀印製菓(株)を中心とした「メロン羊かん」の製品開発を共同で行った。その取り組み内容と茨城大学の役割・成果について発表する。</p>		
<p><b>3 超音波を用いた鳥獣撃退装置の評価と効果のメカニズムの解明</b></p>	<p>宇都宮大学オプティクス教育研究センター 株式会社モハラテクニカ</p>	<p>特任研究員 塚原 直樹 代表取締役 茂原 純一</p>
<p>(株)モハラテクニカが開発した鳥獣害撃退装置「Ultra Sonic」は、いくつかの現場で高い効果を挙げているが、効果のメカニズムは不明である。首都圏北部4大学連合主催の新技术説明会における、宇都宮大学の杉田教授と塚原研究員の「カラスの嫌がる音声を創る」の発表を機に、「Ultra Sonic」の評価と効果のメカニズムの解明の共同研究を開始し、現在、国より研究助成を受けている。</p>		
<p><b>4 パーチャルトレーニングとOJTを融合した熟練技能伝承システムの開発</b></p>	<p>埼玉大学大学院理工学研究科 児玉鋳物株式会社</p>	<p>教授 綿貫 啓一 代表取締役社長 児玉 洋介</p>
<p>ものづくりのための技能修得には、視覚的な情報だけでなく、五感による体験や複数の技能者間のコミュニケーションが重要である。そこで本講演では、マルチメディア技術・バーチャルリアリティ技術による形式知・暗黙知の視覚・聴覚情報呈示およびロボット技術による力触覚情報呈示を融合したバーチャルトレーニングシステムについて述べるとともに、そのバーチャルトレーニングシステムと職場訓練のOJTを融合した新たな熟練技能伝承システムを開発したので紹介する。</p>		
<p><b>5 小麦ブランブレッド –未利用バイオマスから生まれた群馬発機能性食品–</b></p>	<p>群馬大学大学院工学研究科 共同組合群馬炊飯センター</p>	<p>教授 GM 粕谷 健一 岡部 久美子</p>
<p>群馬ブランドの健康志向食パンを開発した。本製品は、以下の点を重視し開発された。 (1) 群馬県産作物の使用(地産地消) (2) 体によくないものを排除 (3) 未利用バイオマスを利用した機能性付与 (4) おいしさの追求 (5) サプリメントではなく、日常食することができるもの</p>		
<p><b>6 日立地区中小企業への海外(中国)展開支援活動の事例紹介</b></p>	<p>(財)日立地区産業支援センター 台北市コンピュータ同業協会</p>	<p>事務局 係長 小山 修 東京事務所 代表 吉村 章</p>
<p>中国蘇州市との経済交流の取り組みについて、過去6年間の状況を時系列的に説明します。また、ここで事業推進の中核となったキーマンの存在についても報告します。もはや中国は競争相手ではなく、有望な市場としてとらえ直した戦略が必要です。</p>		

本件に関する問合せは、群馬大学共同研究イノベーションセンター 前田 または 伊藤 までお願い致します。

TEL : 0277-30-1669、FAX : 0277-30-1192、e-mail: innovation@jimu.gunma-u.ac.jp

----- (お申し込み：下欄に必要事項を記入し、FAX送信をお願い致します) -----

FAX : 0277-30-1192 群馬大学 共同研究イノベーションセンター 行 申込期限 2月18日(木)

◆ 参加申込書

貴社名 \_\_\_\_\_ 業種 \_\_\_\_\_ TEL \_\_\_\_\_

住 所 \_\_\_\_\_ ご紹介元 \_\_\_\_\_

参加者名		
役 職		
e-mail		
交流会	参加・不参加 (いずれかに○を記入)	参加・不参加 (いずれかに○を記入)

\* 本調査の内容は、首都圏北部4大学 産学官連携事例講演会の開催に際してのみ利用致します。